

いわれて、気をよくした。午後の終りに polarization の話があった。どうも確定的な結果は出ていない。これからの課題である。

総じて、interstellar dust の話は、220nmhump で carbonaceous, 3μm 吸収で、H₂O ice, 9.7μm では Si-O 系シリケートときまったようである。そして、IR の U lines は今回の Workshop で Organic と煮つまってきた。残るは、吸収係数の波長依存性すなわち、dust の extinction curve の全体の形は何によってきまるのかという問題である。(坂田 朗)

天文ナンバーワン物語 [XI]

「一番大きかった太陽黒点」

太陽面上に黒いしみの存在することは紀元前からわかっていた。ギリシャのテオフラストス (BC 372-288) は アリストテレスの高弟で、人間の性格研究で有名であり、また植物学の祖といわれる人であるが、その事蹟の中に黒点の記事があるそうである。不幸にして太陽の完全無欠球体を信ずる師の説と相容れなかったため、西欧における黒点の認知は 17 世紀までお預けになってしま

賛助会員名簿

(1983年10月5日現在の国会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

Table with 4 columns of member names and organizations, including旭光学工業株式会社, 朝日新聞社, 松本徹, 地人書館, 中田威夫, etc.

1983年8月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

Table with 15 columns of solar spot data (g, f) for August 1983, with a relative monthly average of 107.1.

昭和58年10月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町125 啓文堂 松本印刷
定価 300円 発行所 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 社団法人 日本天文学会
電話 三鷹 31局 (0422-31) 1359 振替口座 東京 6-13595